

# 遊便

広報誌「遊便」(第15号)  
発行：医療法人 仁風会 八雲病院  
発刊日：2018年10月吉日

## 巻頭言

理念を大事にした看護

第三病棟 看護主任

升田 美和子

少しずつ季節が変わるなか今年も記録的な猛暑が日本を襲い、また大きな地震の発生や台風、豪雨によって多くの方が被災されたなど自然災害の脅威を感じた方も多かったのではないのでしょうか。未だ避難生活が続いて、様々な思いをされている方々の生活が一日でも早く回復してほしいと願っています。

さて、私が勤務する精神一般病棟は急性期の精神症状や身体管理が必要な患者さんが多く入院されています。高齢化社会に伴い高齢の患者さんも多く、転倒・転落などの事故予防にも努め、スタッフ間で情報を共有しながら、患者さんに安心して治療して頂ける環境を整え、症状の安定が図れるよう日々看護しています。

そして、不安定な精神状態から、今まで当たり前でできていた日常生活での動作が行なえなくなったり、周囲とのコミュニケーションが上手くとれなくなったりすることもあります。そのような日常生活における違和感が生じにくさにつながるのではないかと考えています。私はそのような伝えきれない患者さんの思いを汲み取り、必要な援助を考え、実践していくことが、当

院の理念でもある「心の声を大事にします」ということではないかと思っています。

私は看護学生の頃から当院に勤務しています。現在も当院には同じ看護学校に通う学生が働いていたり、他の職種の学生が来られたりすることもあります。そのような学生の姿を見て当時の頃を思い出し、仕事と学業の両立が大変だったことを思い出します。一方で、そうしたフレッシュな学生ほど患者さんの話にキチンと耳を傾けている場面をよく見かけます。新米スタッフは、時には関わりの中で失敗を経験することもありますが、そこから逆に我々経験を経たスタッフに気付かせてくれる事も多くあると感じています。私自身、初心を大切にし柔軟な心を持ち成長していきたいと思っています。

退院後、患者様やご家族に声をかけて頂くことがあります。「あの時はお世話になりました」と元氣な笑顔を拝見する、そんなふとした一瞬が次の看護の活力につながります。日々新しいことを吸収して技術を磨き、「心の声」を大事にした看護が提供できるような努力したいと思っています。

巻頭言	1	遊便第十五号にもくじ
新Dr紹介	2	
研修紹介	2	
病院行事	3	
法人アクセス	4	

# 医師紹介

おおつき こうじ

大朮孝治先生

みなさま、はじめまして。平成30年4月より、八雲病院で週1回勤務させていただいております大朮孝治です。

平成15年卒業で16年目になります。テキサス州生まれ、高知育ちです。大学から山口で、学生時代はバドミントン部に所属しておりました。関心のある領域はうつ病で、島根大学ではストレス外来を担当しております。八雲病院は地域精神科医療に尽力されており、週1回勤務ですが、大変やりがいを感じております。

朝礼の挨拶ネタ探しは日課となりました。まだまだ不慣れですが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

よしおか だいすけ

吉岡大祐先生

今年度より八雲病院に派遣（毎週水曜日）となりました吉岡大祐と申します。独身です。米子市出身で、研修医の2年間は西宮市で勤務しておりました。精神科で働き始めたばかりなので、精神疾患を診ることの難しさを日々痛感しておりますが、同時に、その難解さ、興味深さを楽しみながら奮闘しております。

プライベートも充実させたいので、なにかあればぜひ誘ってください。フットワークは超軽量級です、独身なので。



ありま かずし

有馬和志先生

医局の有馬和志と申します。普段は鳥取大学医学部附属病院に勤務していますが、4月より非常勤医師としてお世話になっております。鳥取大学医学部卒業、初期臨床研修も鳥取大学病院で修了し、この4月から精神科医師としての勤務が始まったばかりです。プライベートでは1歳の娘がおり、主観的にも客観的にも溺愛となっております(笑)。

分からないことも多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

## ご報告

当法人より、平成30年7月豪雨災害義援金を日本赤十字社を通して送りました。被災された方々の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 研修紹介

### 障害者虐待防止法について

7月26日(木)に松江市家庭相談課の高田真由子氏、梶谷治代氏をお招きして障害者虐待防止法についての研修を、法人内のスタッフを対象に行いました。

まず、平成25年に施行された障害者虐待防止法の基本的な知識について学び、その後に、虐待をなくす為に私達一人ひとりができることは何か、気づくべきSOSのサインはなにかなど、様々なことを学ぶことができました。

私達一人ひとり、日常的状況を振り返り、“当たり前”に流れる日常が、本当に“当たり前”の状況なのかどうか見つめ直すことも必要なのではないかと思いました。

虐待をなくしていく第一歩は、気づくこと、行動できることであると言われました。気づく力を身につけていくためにも、日々“当たり前”の状況なのか見つめ直すことから始めていきたいと思えます。

(ビ・フレンドینگ 錦織)

## 病院行事

## 盛り上がった七夕祭



今年の夏は猛暑が続き、「今までに経験した事のない…」と言われる程の異常気象が毎日のように続きました。

以前は暑い夏の夜、涼を求めて空を見上げながら、空一面に広がる天の川の美しさに我を忘れて見入ったのを覚えています。猛暑の時には夜空を見上げる余裕もないくらいでした。

今回Ⅱ病棟（認知症治療病棟）では、病院での生活を、少しでも潤いのあるものにできないかと、また季節感を感じて頂くべく「七夕祭り」を企画しました。

病棟の壁に天の川に見立て、そこに短冊に願い事を書いて貼りました。患者さん方は、「早く病気が治り退院したい」「うなぎが食べたい」「長生きしたい」「毎日笑顔」「皆生温泉、玉造温泉に行きたい」などそれぞれの思いを短冊に込められました。面会に来ら

れた家族さんも思わず笑顔で読んでおられました。また99歳になられる患者さんの娘さんは「七夕を迎えられて幸せです」と生かされている喜びを書かれた短冊に涙ぐまれました。

午後からは、スタッフ総出でたこ焼きパーティを開きました。たこ焼き粉だけで焼くグループや、小さく切ったタコを入れて焼くグループ、タコや色々な具材を入れて焼くグループと、それぞれグループ分けして作ってみました。

グループに分かれた患者さんが、たこ焼きをコロコロと上手にひっくり返して焼かれる姿は日頃の様子と全然異なっていました。楽しそうに集中しておられ、日頃のリハビリ活動ではあまり参加されずに居場所をなくされていた患者さんもグループの中では生き生きとされていた様子がとても印象的でした。

鉄板で焼くジュージューという音、香り、見た目などは、とても五感をくすぐります。音の記憶を取り戻されているかのようで、3時のお茶の時間はいつになく盛況でした。

職員も祭りを通して患者さんとともに楽しみ、共に元気をもらい、活気あるひとときを過ごし暑さを忘れられました。ひとときではあっても気分を変化させ、季節を感じ豊かな気持ちになれるような療養生活の工夫が出来たように思いますし、季節行事を通して患者さんの違う面が見られ、患者さんに少し近づけたように思いました。

これからも患者さんの笑顔のために季節行事が出来るように、病棟として取り組みたいと思います。

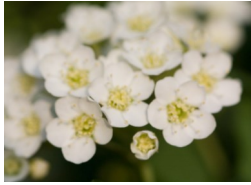
(池田)



(左) たくさんの願い事と患者さんの作った素敵な天の川です

(右) 色々なたこ焼きを作ってもりあげられました





わたくしたちは心の声を大事にします  
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

# 医療法人 仁風会

○八雲病院（外来診療時間午前中のみ）

平日8：30—12：30／土 8：30—12：30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456(代表)

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぼぼ（精神科デイケア）

※お問い合わせは代表まで

月曜日—金曜日 午前9：30—午後3：30

・デイケアやくも（重度認知症デイケア）

※お問い合わせは代表まで

月曜日—金曜日 午前9：00—午後3：40

○コスモス（自立訓練【生活訓練】事業所）

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ピ・フレンドィング（地域活動支援センター・相談支援事業所）

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里（認知症グループホーム・介護保険）

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

○八雲病院 居宅介護支援事業所 電話(0852)23-3456(代表)

## ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・感想などございましたら、ぜひ下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会、広報誌「遊便」共々よろしくお願ひ致します。

〒690-0033

松江市大庭町1460-3

(医)仁風会

広報委員会0852-23-3456まで

お知らせ

### ホームページのご案内

当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。

ぜひご覧ください。アドレス <http://www.yakumohp.net/>



2018年8月25日より八雲病院前の交差点が工事に伴って変更されています。右記画像をご確認ください。



## 編集後記

夏の暑さも峠を越し、ようやく秋の気配を感じる時期となりました。

今年の夏から、外来やピフレでは新しくさわやかな風景の油絵が飾られ、暑い中、通りすがの度に涼をもたらししてくれました。

また、法人の各部署では、作業療法の活動作品や、利用者さんの趣味の作品が飾られています。お越しの際には当法人の芸術の秋をお楽しみください。

(笠置)